

＜総 説＞

1 沿 革

本町は知多半島の中央部に位置し、名古屋市から南約25キロメートルのところであり、名鉄阿久比駅から名古屋駅まで約30分、知多半島道路阿久比インターチェンジから名古屋都心部まで自動車で約30分という利便性の高い位置にある。

町名の「阿久比」の由来は不明だが、藤原京から出土した木簡に「甲午年（西暦694年）9月12日知多評（後に知多郡）阿具比」と書かれたものが今までに知られている最古の史料である。その後平城京木簡に「英比（あぐい）郷」と書かれたものがあり、これは、和銅6年（西暦713年）の「二字」「嘉名」の令によって改められたものと考えられている。中世には阿古居と書いた例もあるが、後世になって、英比谷の十数カ村が合併した時に「阿久比」の字を使うようになった。

明治39年5月1日に、阿久比村、東阿久比村、上阿久比村の3カ村の合併によって阿久比村となり、昭和28年1月1日に町制が施行された。

阿久比町沿革史

藩	郡	明治初年	明治 11.12.28	明治 17年 2 月	明治 22.10. 1	明治 39. 5. 1	昭和 28. 1. 1
名古屋 知多郡	古	稗之宮村	阿久比村	阿久比村	阿久比村	阿久比村	阿久比町
		棕 原 村		棕 岡 村			
		角 岡 村		矢 高 村			
		高 岡 村					
		矢 口 村					
		植 村		植 大 村			
	大古根村	横 松 村		東阿久比村			
	横 松 村	萩 村					
	荻 村	宮 津 村					
	宮 津 村	板 山 村					
	板 山 村	福 住 村					
	福 住 村	白 沢 村			上阿久比村		
	白 沢 村	草 木 村					
	草 木 村	卯 坂 村					
	卯之山村						
坂 部 村							

資料：市町村沿革史

町制施行当時の人口は13,374人で、その後町の中央に役場、中央公民館などを有し、次第に町の中心を形成してきた。

3カ村の合併当時は知多郡の中心に位置しているといっても、交通不便で極めて貧弱な純農村であった。しかし、地味肥沃で往古から米作に適し、阿久比米の名声は高い。

農村の副業として行われてきた織布が明治の末期から動力に変化するとともに、昭和6年春、知多鉄道の開通、昭和8年名古屋半田線の改築など交通機関の発達に伴います織布業が発展し、昭和12年ごろには東浦町に次ぐ県内有数の機業地となった。

農業においては、昭和36年9月愛知用水事業の完成によって農業用水を導入し、長年干害に悩まされてきた農業もようやく大きく進展するに至った。愛知用水事業に関連して実施した開墾面積は250ヘクタールに達し、そこにみかんが栽培されている。

今後の水需要に応えるため昭和58年3月から愛知用水二期事業に着手した。

知多半島道路は、昭和46年7月に全線開通し、南知多道路（昭和45年3月完成）と結ばれ、平成3年1月に4車線化された。昭和58年7月に名鉄河和線阿久比駅が開業し、平成元年11月には、阿久比町の東西を結ぶオアシス大橋も完成した。

昭和44年から始まった阿久比川両側の水田をはじめとした、約350ヘクタールのほ場整備事業が昭和56年3月末に完了した。知多半島道路西地区の約720ヘクタールの農地についても、基盤の整備に努め、機械化、協業化、裏作の合理的運用を促進するなど営農の合理化に努めている。

平成2年には草木地区、平成6年には南部地区、平成10年には中部地区において先端産業が操業し、住宅都市から内陸工業都市へ徐々に脱皮するための地歩を築いてきている。

平成10年に、阿久比駅前土地区画整理事業が完了し、阿久比町の表玄関が完成した。平成20年12月には阿久比駅に特急が停車するようになり、名古屋からのアクセスが各段に良くなった。平成19年から大規模な宅地開発が進み人口が増加した。平成26年から新庁舎建設が始まり、平成28年1月には新庁舎での業務を開始し、平成29年4月には新庁舎・多目的ホールの供用を開始した。令和元年から新学校給食センター建設が始まり、令和2年9月から新学校給食センターが本格稼働した。

令和2年、新型コロナウイルス感染症が世界的に広まった。緊急事態宣言が発出され、感染拡大防止のため、様々な行事を中止し、令和3年からワクチン接種を進めた。令和4年に入っても終束せず現在も新型コロナウイルスと共存する生活が続いている。

令和3年9月に、公益財団法人スポーツ医・科学研究所から土地・建物の引き渡しを受け、令和4年4月に阿久比スポーツ村交流センターとして開所した。

2 町の概要

- 阿久比町役場の所在地

愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50番地

- 阿久比町役場の位置 東経 136° 55' 北緯 34° 56'

- 面積 23.80km²

- 町制施行 昭和28年1月1日

- 世帯と人口 世帯 10,934

(令和4年4月1日) 人口28,564人(男14,153人、女14,411人)

- 阿久比町本庁舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建
総面積 6,233.42m²

3 気 候

本町は知多半島の中央に位置し、令和3年の月別平均気温(9時)は、最低が1月の5.3℃で、最高が8月の28.0℃である。本町には観測所がないので、知多中部広域事務組合消防本部(半田市)の資料を掲示した。

- 月別降雨量 (単位 mm) 令和3年

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
総雨量	55.0	47.0	195.5	126.0	116.5	145.0	177.0	230.5	193.5	50.5	81.0	91.5	1,509.0

- 月別最高気温 (単位 ℃) 令和3年

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平 均
最高気温	15.9	21.7	23.9	26.8	29.7	32.1	35.1	37.3	31.6	30.8	23.0	18.6	27.2

- 月別最低気温 (単位 ℃) 令和3年

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平 均
最低気温	-4.7	-2.2	3.0	5.9	10.9	16.4	21.2	21.8	17.5	9.5	2.0	-1.3	8.3

- 月別平均気温(9時) (単位 ℃) 令和3年

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平 均
平均気温	5.3	7.6	12.1	15.4	19.6	23.2	27.5	28.0	24.3	20.1	13.6	8.0	17.0

資料：知多中部広域事務組合消防本部「消防年報」

4 地 勢

- 海 抜

最 高 74.7m(植大字陶ヶ峯地内)

最 低 0.1m(横松字前田地内)

- 広 ば う

東西最長 6.1km(最西、草木字上大池。最東、板山字広脇)

南北最長 5.9km(最北、白沢字上釜ヶ池。

最南、植大字西向毛)